

科目名	技術者倫理	英語科目名	Ethics of Engineers
開講年度・学期	平成28年度・前期	対象学科・専攻・学年	専攻科2年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	2単位	単位種類	学修単位（15+30）h
担当教員	上野哲・小林一光	居室（もしくは所属）	講義棟2階
電話	0285-20-2100	E-mail	tueno@oyama-ct.ac.jp
授業の到達目標	授業達成目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育目標 (JABEE)	JABEE 基準要件
	⑥	E	d-4
	①	D	b
1. 科学技術の発展過程と科学技術が現在直面する問題を技術史を踏まえて技術者の立場から説明できること。	①	D	a
2. 企業に勤める技術者として直面する倫理的問題と技術者のあるべき姿を多面的総合的に説明できること。			
3. 科学技術をめぐる問題の解決策について創造的に持論を構築できること。			
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標2：各ケースにおいて設定した設問に対する考察（事前学習レポート提出）。（前半7回） レポートの評価基準 [設問条件の理解] 設問の条件を踏まえている。（5点） [課題内容理解] 課題の内容を理解している。（5点） [説得力] 論理的・現実的な考察を独自の視点でおこなっている。（5点）			
達成目標1及び3：グループ発表／個人レポート。（後半） 1）グループ発表により、設問条件の理解、課題内容の理解、論理的・現実的考察内容の視点で評価する 2）課題に対する個人レポート提出を求めて、条件理解、課題内容理解、論理性・現実性を踏まえた考察内容で評価する。 グループ発表評価40％、個人レポート60％で評価し、全体60％以上を合格とする。			
達成目標1及び3にかかわるグループ発表／個人レポート（100点満点）および達成目標2にかかわるレポート（7回・15点×7回＝105点満点）について、合計点が60％以上の場合、達成とする。			
評価方法			
第2・3・4・5・6・7・8講後に提出を課すレポートの成績、及び第9～15講で課すグループ発表／個人レポート：100％			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
1. 技術者倫理と企業倫理（1）	4／8	ケースメソッドで倫理を考える	4
2. 技術者倫理と企業倫理（2）	4／15	「あるコンビニエンスストアの現金違算」検討	4
3. 技術者倫理と企業倫理（3）	4／22	「なぜ会社を辞めるのか？」検討	4
4. 技術者倫理と企業倫理（4）	5／6	「ベンチャー電子工業株式会社」検討	4
5. 技術者倫理と企業倫理（5）	5／13	「(株)花王のクイックルワイパー開発活動」検討	4
6. 技術者倫理と企業倫理（6）	5／20	「青色LED訴訟・2004年200億円判決」検討	4
7. 技術者倫理と企業倫理（7）	5／27	「スターバックスとコンサベーション・インターナショナル」検討	4
8. 技術者倫理と企業倫理（8）	6／10	「青梅慶友病院と大塚宣夫」検討	4
9. 技術者として責任ある行動とは	6／17	企業での開発業務を通して	4
10. 実践的技術者倫理	6／24		4
11. 重大事故・失敗事例（1）	7／1		4
12. 重大事故・失敗事例（2）	7／8		4
13. 重大事故・失敗事例グループ討議	7／15		4
14. グループ討議発表準備	7／22		4
15. グループ発表・質疑応答	9／9		4
自学自習時間合計			60
キーワード	技術者、倫理、責任、安全、事故、技術と技能		
教科書	前半8講は慶應義塾大学ビジネススクール発行のケース教材を使用する。		
参考書	松島隆裕編『技術者倫理』（学術図書出版社）。他の文献は必要に応じて適宜紹介する。		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	哲学、歴史学、人間と科学Ⅰ/Ⅱ、技術論		
現学年の関連科目			
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
シラバスの内容に変更があった場合は受講者に対して速やかに説明する。			
シラバス作成年月日	平成28（2016）年3月22日		